

環境先進国ドイツのサステナブル住宅に学ぶ

2014 **3/25** (火)

13:30 ▶ 16:30
(12:45 受付開始 / 開場)

イイノホール

(東京都千代田区内幸町 2-1-1)

参加費 **無料** (事前申込みが必要です)

募集定員 **450** 名

日本とドイツは気候風土、文化は違えども、互いに持続可能な社会の構築に向けて「住まいの省エネ化」や、少子高齢化に対応した「健康で快適な住まいの実現」という共通の課題を抱えています。

本シンポジウムでは、ドイツが現在進めている住宅・建築物の環境・省エネルギー施策やプラスエナジーハウスなどの最新施策をご紹介します。両国の省エネルギーの施策を比較し理解することで、これからのサステナブル住宅に求められるものは何か？その答えを知るきっかけにいただければと思います。皆様の参加をお待ちしております。

★同時通訳あり

プログラム

13:30 主催者挨拶

13:35 来賓挨拶

13:40 セッション 1 (基調講演)

基調講演 1 『(仮) サステナブル住宅に向けた日本の取組み』

講演者：村上周三 氏 (一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 理事長)

基調講演 2 『(仮) プラスエナジーハウスの建設と経過観察』

講演者：ハンス・ディーター・ヘグナー 氏 (ドイツ連邦 交通・建設・都市開発省 課長)

14:30 休憩

14:40 セッション 2 (ショートプレゼンテーション&パネルディスカッション①)

◇テーマ 『(仮) 日独両国がお互いに何を学ぶことができるか』

① (仮) EU指令への適応の中で変化してきた評価システムとドイツが得た経験

ハンス・エアホーン氏 (ブラウンホーファー建築物理研究所)

② 日独共同プロジェクト 成果報告 (日本)

澤地孝男氏 (独立行政法人建築研究所)

③ 日独共同プロジェクト 成果報告 (ドイツ)

マンフレッド・ラウシェン氏 (エコセンターNRW)

④ ディスカッション

15:40 セッション 3 (ショートプレゼンテーション&パネルディスカッション②)

◇テーマ 『(仮) 日独両国における最新プロジェクト動向』

① (仮) 集合住宅の省エネリフォーム

ヘルムート・ミルドナー氏 (ウルム市住宅公社)

② (仮) ドイツの最新プロジェクト

(ドイツ復興金融公庫)

③ (仮) 住宅の最先端省エネ技術の現状と今後

石田建一氏 (積水ハウス株式会社)

④ ディスカッション

□ モデレーター : 吉野 博 (一般社団法人日本サステナブル建築協会 会長 / 東北大学 名誉教授)

パネリスト : 各回のプレゼンター および 村上周三氏

※プログラムは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

<講演者紹介>



村上 周三 氏

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 理事長

1967年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了 工学博士。1985年東京大学生産技術研究所教授、1999年デンマーク工科大学(DTU)客員教授、2001年慶應義塾大学理工学部教授、2008年独立行政法人建築研究所理事長を経て2012年より現職。(就任は2003年～)。空気調和・衛生工学会会長、日本建築学会会長等を歴任。主な著書に「低炭素社会におけるエネルギーマネジメント」(共著 2010年慶應義塾大学出版会)、他多数



ハンス＝ディーター・ヘグナー氏

ドイツ連邦交通・建設・都市開発省 課長

ソフィア大学建築学科ディプロム過程終了後、個人設計事務所に勤務。旧東ドイツ化学技術省建築部門に採用。東西ドイツ統一後は、新築、既存建築物の省エネ化の専門家として、現在の連邦交通・建設・都市開発省(BMVB)の前身である省庁にて勤務。現在は同省において建築物の省エネ化、持続可能な建築物の推進を担当する専門部局の課長を務める。同時に、ドイツ工業規格設定のための専門家諮問委員会における委員長、ドイツ建築技術研究所(DIBt)における専門家諮問委員会A「断熱と防音のための建材と建築手法」の委員長も兼任する。

<申込み方法>

①Web サイトからお申込みされる場合

日本サステナブル建築協会(JSBC)のWebサイトの当該シンポジウムのページからお申込みいただけます。
(<http://www.jsbc.or.jp>)

②FAXにてお申込みの場合

右記申込書に必要事項をご記入のうえ、切り取らずにFAXにてお申込み下さい。(FAX番号:03-3222-6100)

- ★いずれの場合も、受付完了後に番号を記した参加票を返金させていただきますので、当日会場受付にご提出下さい。
- ★定員に達した時点で申込受付を締め切らせていただきます。

<会場案内図> 所在地：東京都千代田区内幸町 2-1-1



- ・東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C3 出口 徒歩 1 分
 - ・東京メトロ 丸ノ内線「霞ヶ関」駅 B2 出口 徒歩 5 分
 - ・東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9 番出口 徒歩 3 分
 - ・都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A6 出口より日比谷シティ経由で直結
- ★ご来場の際は、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

【参加申込書】	FAX 番号：03-3222-6100
フリガナ	
氏名	
法人名	
所属・役職	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
【参加票】	
<p>この度は、シンポジウムにお申込みいただきまして誠に有難うございました。受付が完了致しましたので、参加票を送付申し上げます。当日はこの参加票をご持参いただき受付にご提出下さい。 (受付番号または担当者印のないものは無効となりますのでご注意ください。)</p>	
シンポジウム 受付番号	—
	担当者印

◎本申込みにより当法人が取得する個人情報の利用目的は、本シンポジウムに係る案内および連絡、その他当法人が開催する講習会、セミナーの案内となります。
なお、個人情報保護法第 24 条第 1 項に定める事項については、当法人のホームページ(<http://www.jsbc.or.jp/>)をご覧ください。

<問合せ先>

一般社団法人日本サステナブル建築協会
シンポジウム受付担当：千本(せんぼん)
電話番号：03-3222-6391 (受付時間：平日 10 時～17 時)